

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	教科書の検定調査発行供給等事務処理		<b>担当部局庁</b>	初等中等教育局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和22年度		<b>担当課室</b>	教科書課		教科書課長 森 晃憲		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	Ⅱ-1 確かな学力の育成				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	教科書の発行に関する臨時措置法第6条、第7条、第8条		<b>関係する計画、通知等</b>	教育振興基本計画(H20.7.1閣議決定) 「発行者の宣伝活動のあり方、採択地区の設定、教科書センターの設置運営及び発行者の指定について」(S39教科用図書検定調査審議会教科用図書分科会建議)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	教科書の検定調査、採択、発行、供給事務が円滑かつ適切に実施されることを目的とする。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	上記の目的を達成するため、以下の事業を行う。 ①教科書発行者から検定申請のあった図書について、教科用図書検定調査審議会にて審議を行い、適正な検定審査を実施する。 ②教科書の発行に関する臨時措置法第6条に基づき、教科書目録を発行し、全国の教育委員会、学校等へ配布する。 ③職員が出張し、各都道府県における教科書採択や発行供給状況の調査を行うとともに、教科書発行者との協議会を開催し、教科書採択にかかる公正確保や教科書の円滑・確実な供給などについて指導を行う。 ④全国複数会場において、教科用図書検定結果の公開を行う。 ⑤教科書事務執行管理システムを必要に応じて改修するほか、ヘルプデスクを開設し、全国の学校、教育委員会の円滑な業務遂行を担保する。 ⑥教科書の編集趣意書を文部科学省において集録した後、インターネットに掲載し、広く一般の利用に供する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	43	50	37	36	33	
		補正予算	-3	0	0	-		
		繰越し等	0	0	0	-		
	計	40	50	37	36	33		
	執行額	20	41	28				
執行率(%)	50.0%	82.0%	75.7%					
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	本予算は教科書の検定調査、採択、発行、供給事務が円滑かつ適切に実施されることを目的としたものである。		成果実績 達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	上記「成果指標」と同様の理由により省略。		活動実績(当初見込み)			( )	( )	
<b>単位当たりコスト</b>	(円)		算出根拠	上記「成果指標」と同様の理由により省略。				
平成24-25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	非常勤職員手当	8百万円	8百万円	・23年度執行実績を踏まえた積算単価の見直し等による減				
	職員旅費	2百万円	2百万円					
	庁費	10百万円	13百万円					
	情報処理業務庁費	13百万円	8百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費等	3百万円	2百万円					
	計	36百万円	33百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	この事業は、法律等に基づき教科書の検定調査、採択、発行、供給事務が円滑かつ適切に実施されることを目的としており、引き続き、適正な予算規模にて、国が実施すべき優先度の高い事業である。なお、委託業者の選定に当たり、最も低廉かつ着実に事業を実施出来る事などを考慮した結果、予算額に不用が生じた。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	業者の選定に当たっては、一般競争入札を実施している。また発注後も適切に業務を実施できるよう適宜指導を行い、業務の実施状況把握等に努めている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業については、常に必要最低限度の経費についてのみ予算計上しつつ、適正に行政事務を実施している。また、都道府県教育委員会や教科書発行者等といった外部との連携が必要なものについては、常に情報共有及び調整を図り、円滑な事業の実施を図っている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	本事業は、教科書の発行に関する臨時措置法等に基づき、教科書の検定調査、採択、発行、供給事務が円滑かつ適切に実施されることを目的としており、引き続き適正な規模で事業を実施する必要がある。平成23年度は委託経費の見直しなどを行い、予算の効率化を図った。また、検定結果は全国の複数会場で開催しているほか、教科書編集趣意書はHPIに掲載するなど、広く一般に供している。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、教科書の検定調査、採択、発行、供給事務が円滑かつ適切に実施されることを目的とし、申請図書等の調査・審査等を昭和22年から実施している事業であり、長期継続事業や予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：この事業は、昭和22年度以降長期に継続している事業であり、学校教育法に基づく教科書検定は、今後も実施する必要があるものであるが、平成23年度決算において不用額が生じていることから、不用額が生じたより詳細な要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減	23年度執行状況を踏まえ、契約の競争性、公平性、透明性を確保するための競争参加条件等の改善を図るとともに、①教科書検定調査事務処理に係る積算単価の見直し、②教科書検定等の普及・公開等の事業での委託経費の見直し等を行い、25年度概算要求に▲2百万円反映した。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
(参考)教育振興基本計画URL：http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/index.htm			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	61・63	平成23年行政事業レビュー	88

教科書の検定調査発行供給等事務処理

文部科学省  
28百万円

非常勤職員手当 8百万円  
諸謝金 2百万円  
職員旅費 2百万円  
庁費等 10百万円

を含む

教科書の検定調査、採択、発行、供給事務が円滑かつ適切に実施されることを目的とし、

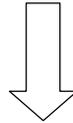
- ①申請図書の調査・審査の実施
- ②教科書目録の作成
- ③教科書採択の公正確保にかかる指導及び発行供給状況の調査
- ④申請図書及び検定審査の概要等の公開
- ⑤教科書事務執行管理システムの確実な運用
- ⑥教科書編さん趣旨の徹底

等を行う。



【一般競争入札・委託】

A 「教科書検定結果の常設展示による公開事業」に係る業務  
2百万円  
公益財団法人教科書研究センター



【一般競争入札・請負】

B 教科書事務執行管理システムのヘルプデスク業務  
2百万円  
株式会社ケー・デー・シー



【一般競争入札・請負】

C 教科書事務執行管理システムの機能更新  
2百万円  
株式会社エスワイシステム

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

国民の教科書に対する関心に応え、教科書への信頼を確保するとともに、教科書検定へのより一層の理解に資するため、国民が検定結果に関する情報を常時入手できるように、申請図書及び検定審査の概要について常設展示による公開を行う。

教科書事務執行管理システム(各学校、教育委員会による教科書の需要数及び受領冊数の報告を電算化するシステム)の利用をサポートするヘルプデスク業務の請負。

※情報処理業務庁費の執行分

教科書事務執行管理システムの機能を教科書の改定に合わせて機能更新する業務の請負。

※情報処理業務庁費の執行分

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.公益財団法人教科書研究センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会場借料等	会場使用料、通信運搬費、消耗品費	2			
計		2	計		0
B.株式会社ケー・デー・シー			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	ヘルプデスク業務	2			
計		2	計		0
C.株式会社エスワイシステム			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	システム機能更新	2			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 支出先上位10者リスト

### A.教科書検定結果の常設展示による公開事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人教科書研究センター	国民が検定結果に関する情報を常時入手できるよう、申請図書及び検定審査の概要について常設展示による公開を実施。	2	1	94.1%

### B.教科書事務執行管理システムのヘルプデスク業務

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ケー・デー・シー	教科書事務執行管理システムの利用をサポートするヘルプデスク業務の実施。	2	1	56.1%

### C.教科書事務執行管理システムの機能更新

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社エスワイシステム	教科書事務執行管理システムの機能を教科書の改定に合わせて機能更新する業務の実施。	2	9	64.2%